足利由紀子理事長お別れの会 中津干潟を背景に

annual report 2020

令和2年度報告

大分合同新聞文化賞

日韓国際環境賞

お別れの会

since 1999

NPO法人 水辺に遊ぶ会

Nakatsu Waterfront Conservation Association

活動レポート
Activity report 2020

新型コロナウイルスの感染拡大により前半は行事の中止が続きましたが、夏を過ぎる頃から屋外行事関してはガイドラインに沿って開催することができるようになりました。ただ、前年度から始めた「子どもアカデミア」は中止、恒例となった「中津干潟アカデミア」は無観客のNET配信となりました。「中津干潟の日」を企画したことがきっかけで、日韓国際環境賞、地域再生大賞の受賞が決まったこともご報告しておきます。

ビーチクリーン

中津干潟の日プチウォーク

山国川オサカナ観察会

アカテガニ産卵観察会

ベッコウトンボ保全活動

1．自然に関する理解を深めるための啓発活動

自然観察会：4回　参加者：273名
　ベッコウトンボ観察会と春の干潟観察会（covid-19中止）。アカテガニ観察会・山国川おサカナ観察会・秋の干潟観察会・ズグロカモメと冬鳥観察会・海苔すき体験
その他主催行事：1回　参加者：1,344名
　ひがたらぼ夏休みワークショップとひがたかふぇ（covid-19中止）。中津の海の絵コンテスト
環境学習のサポート：30回　参加者：1,473名
　中津市：北部小学校・南部小学校・豊田小学校・小楠小学校・如水小学校・沖代小学校・東中津中学校
　市　外：長峰小学校・天津小学校・三毛門小学校・吉富小学校・宇島小学校
　その他：中津市社会福祉協議会・大分ガールスカウト・如水こども園・ありんこくらぶ他
中津干潟子どもアカデミア（covid-19中止）
中津干潟の日 プチウォーク・ポスター写真展
中津干潟NETアカデミア第4回研究発表会　無観客　YouTube
日韓国際環境賞　大分合同新聞文化賞　地域再生大賞優秀賞

2．調査研究活動

主体調査：カブトガニ・シギチドリ類・ガンカモ類・ベントス・ベッコウトンボ・ＲＤＢ見直し・アライグマ・漁場塩分濃度・地形他
調査研究への協力：水産大学校・日本文理大学・長崎大学・法政大学・JEAN・環境省

3．海岸清掃他環境美化や廃棄物問題に関する活動

ビーチクリーン：大新田海岸2回（covid-191回中止）　三百間海岸：中止　参加者274名
　回収ゴミ：410kg（可燃250kg・不燃・粗大160kg）
　対象区域：約60,000㎡×2回
松林再生：作業のべ22日　参加者：168名
　他団体への指導：小楠小学校

4．ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動

主催行事：帝王紫ワークショップ（covid-19中止）

5．自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信

会報誌「ガタガタ通信」4回発行
annual　report　2019　発行
HP管理運営
イベント出展：今津校区わいわいまつりとTOTOリモデルフェア（covid-19中止）
マスコミ対応　NHK、NOASFM、大分合同新聞、朝日新聞、毎日新聞、赤旗新聞、みなと新聞、共同通信社等

6．民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など

ベッコウトンボ生息池整備作業　参加者25名
野依新池ボウリング調査助言（県）　野依新池草地管理助言（国土交通省）
中津北高校文化祭ヒアリング　8名
五十石川等流域会議・舞手川河口侵食対策・各団体ヒアリング受入（環境省・国土交通省・県）

7．持続可能な社会を追求するためのその他の事業

ひがたらぼ運営・商品販売（カブトガニサブレ・海苔）　ガタガタ広場水道設置

会計レポート
Financial report 2020

当初予算では170万円余りの赤字を想定していましたが、足利由紀子理事長の逝去に伴って、多くの寄付が集まったこと、日韓国際環境賞の賞金１万ドルが入ったことから単年度大幅な黒字となりました。会では、ネイチャーセンターの建設を計画しており、今回の収入を元に本格的に建設に向けての行動を起こしたいと考えております。ただ、助成金だよりの経営構造は変わっておらず、会費収入、寄付を増やすことが課題となっています。

活動計算書 (2020.4.1～2021.3.31)

Ⅰ 経常収益	
1. 受取会費	**605,000**
2. 受取寄附金	**2,316,670**
3. 受取助成金等	**1,156,228**
4. 事業収益	**2,961,547**
①自然に関する理解を深めるための啓発活動	751,242
②調査研究活動	1,748,000
③海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する活動	60,000
④ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動	0
⑤自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信	0
⑥民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など	15,800
⑦持続可能な社会を追究するためのその他の事業	386,505
5. その他収益（受取利息・雑収入）	**1,088,998**
経常収益計	**8,128,443**
Ⅱ 経常費用	
1. 事業費	**5,474,140**
①自然に関する理解を深めるための啓発活動	2,793,321
②調査研究活動	1,129,722
③海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する活動	211,991
④ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動	0
⑤自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信	368,751
⑥民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など	4,233
⑦持続可能な社会を追究するためのその他の事業	966,122
2. 管理費	**860,204**
（1）人件費	302,473
（2）その他費用	557,731
経常費用計	**6,334,344**
Ⅲ 経常外収益	
過年度損益修正益（前年度収益）	40,516
経常外費用計	**40,516**
Ⅳ 経常外費用	
過年度損益修正損（前年度損失）	0
経常外費用計	**0**
税引き前当期正味財産増減額	1,834,615
法人税、住民税及び事業税	71,000
当期正味財産増減額	**1,763,615**
前期繰越正味財産額	**2,841,231**
次期繰越正味財産額	**4,604,846**

貸借対照表 (2021.3.31現在)

Ⅰ 資産の部	
1 流動資産	**5,242,420**
現金預金	3,179,535
未収金	1,760,258
前払金	247,220
棚卸資産	55,407
2 固定資産	**0**
資産合計	**5,242,420**
Ⅱ 負債の部	
1 流動負債	**637,574**
短期借入金	0
未払金	365,194
前受金	160,500
預り金	40,880
法人税等未払金	71,000
2 固定負債	**0**
負債合計	**637,574**
Ⅲ 正味財産の部	
前期繰越正味財産	**2,841,231**
当期正味財産増加額	**1,763,615**
正味財産合計	**4,604,846**

補助金・助成金一覧

SAVE JPAN PROJECT	712,810
大分県森と海をつなぐ環境保全推進事業	110,258
北部九州河川利用協会河川利用推進事業	333,160

業務委託一覧

中津市環境調査委託	1,650,000
国土交通省河川協力団体委託	644,448

寄　付

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	300,000
日本ユネスコ協会	100,000
足利由紀子理事長お別れの会	697,000

（単位：円）

SAVE JAPAN PROJECT (2020)
「ベッコウトンボ保全」「中津干潟アカデミア」etc.

2010年に名古屋で開かれた「生物多様性条約第10回締約国会議」（COP10）に関連して各地で問題解決に向けた取り組みが広がりました。セーブジャパンプロジェクトは、この動きを支援するためにつくられ、当会も損保ジャパン（株）、日本NPOセンター、おおいたNPOデザインセンターと協働して希少生物の保全活動を行ってきました。具体的には、ベッコウトンボのすむ野依新池の整備活動や「中津干潟アカデミア」などを通じて保全の大切さを市民に広げるための活動を展開し、成果を残すことができました。

北部九州河川利用協会河川利用推進事業 (2020)
冊子「だいすき！山国川」改訂

十数年前に製作した「だいすき！山国川ー山国川の生きもの図鑑ー」の改訂を北部九州河川利用協会の助成金で行いました。冊子は、毎年夏に行っている「山国川観察会」や周辺地域の各小学校など行っている、ふるさとの河川環境を理解してもらう授業で楽しく生きものについて学ぶ教材として活用してきました。しかし、環境省や各県のRDB（絶滅危惧）種の見直し作業が進み、内容が古くなってしまったことから、情報の更新を行うことにしました。また冊子を大型化し見やすくなりました。今後も広く活用していきます。

足利初代理事長旅立つ

2020年10月14日、足利由紀子理事長が亡くなりました。わずか57年の人生でしたが、傍目にも常に全力投球の人であったと思います。

ここ数年は持病のため思うように仕事ができず、歯がゆい思いをしていたようにみえました。大手術の直後にも関わらず、ふらつきながら、ただし笑顔は絶やさず地域の人々や子どもたちに中津干潟の価値を伝える活動を続けました。

その時は全く気づかなかったのですが、過去の写真を見返しますと、冬の行事にも関わらず顔から吹き出すように汗を流しながら、笑顔で若者に語りかける姿が克明に残っています。

生きもの好きがこうじて生物学を学び、いつもそれらに関わりながら日々を過ごしてきたと言います。そして20年余り前に中津干潟とそこで暮らす希少な生物群と出会い、まだほとんど誰も気づいていなかった干潟の海の価値を人々に伝えるか活動を始めました。

大変なこと、嫌なこともいっぱいあったと聞きます。でも、文句はいいながらも不思議と根深い憎しみのようなものは感じられませんでした。むしろ、どうしたら理解してもらえるのだろうという、問いかけるような優しく強い思いが言葉の端々に感じられました。

「生きもの元気、子どもも元気、漁師さんも元気な中津干潟を100年後も…」という会のモットーは、ただ文字を並べただけのものではなくて、本当にそうなって欲しいという願いが込められています。

この1世紀に満たない間に自然環境と私たちの関係は大きく変わってしまいました。その失われた人と自然の関係を取り戻し、環境を保全しながら、賢く使い続ける知恵を身につけることが今求められています。この地域で生きる全てのものたちにとってよりよい暮らしが成り立つことを願って活動を続けて行きたいと思っています。

ネイチャーセンター

前年度、この欄に水道施設が欲しいと書かせていただきましたが、念願叶って設備が整いました。しかも良心的な業者さんのおかげで当初予想していた額の半分以下で設置することができました。ありがとうございました。おかげで観察会の時に、より安全に効率的にトイレや汚れ落としに使うことができます。

さて、昨年度は日韓国際環境賞、大分合同新聞文化賞、地域再生大賞優秀賞、そして2021年度には日本水大賞審査部会特別賞など様々な表彰をいただくことができました。これらは、会員様やボランティアの方々の活動が社会的に認められたものと喜んでおります。また同時に責任の重さも感じているところです。

会のミッションは中津干潟の保全です。同時に、その自然の豊かさを私たちの心や体、経済活動に役立てることも考えなければなりません。そのために、もっと地域の歴史、文化、環境、海の幸のかしこい利用などについて多面的に学び、行動する必要があります。

これを総合的に請け負うのが、私たちが提唱する「中津干潟ネイチャーセンター」です。保全し、調べ、学び、育て、活用する施設です。

水道施設は完成しました。次は、ちょっとばかり大きなものになりますが、皆様方のお力をお借りして、是非とも実現させたいと考えています。よろしくお願い申し上げます。

NPO法人 水辺に遊ぶ会

〒871-0024 大分県中津市中央町2-8-35
TEL･FAX 0979-77-4396（ひがたらぼ）
E-mail：info@mizubeniasobukai.org
URL：http://mizubeniasobukai.org/

中津ネイチャーセンター
ひがたらぼ

〒871-0006
大分県中津市東浜1151-4
TEL・FAX 0979-77-4396
開館時間 10:00～16:00
休館日 土日祝日

水辺に遊ぶ会の活動は皆様の会費・ご寄付によって支えられています。ご支援ご協力お願いいたします。

●カブトガニコース（一般会員）

・**年会費　1,500 円**

年４回発行の「ガタガタ通信」と「行事案内」をお届けします。

●ズグロカモメコース（サポーター会員）

・**1 口　10,000 円**

水辺に遊ぶ会を経済的に支援していただけるサポーターをお願いいたします。内訳は、一般会員の会費＋寄付になります。

【ゆうちょ銀行もしくは　郵便局でお手続きの場合】

振替口座：01760－0－134110
名　　義：NPO 法人 水辺に遊ぶ会

お名前・ご住所・電話番号・E-mail 等を明記の上、お振り込みをお願いします。